

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

2021年

5月号

☆工房ぶらす	2・3
☆活動報告	4
☆祝！！風の子復帰（小熊）	5
☆「風の子会」が『平成ビル』に 転居した事において（信高）	6
☆久しぶりの試食会（三木）	6
☆風の子会の移転（Yuki）	7
☆懐かしの写真アルバム	8
☆運営委員会報告	9
☆職員募集	10
☆賛助会募集	11
☆寄付のお礼・廣瀬さんの写真 コーナー	12

3月27日、皆で景色を見て  
います。「いいながめだな」



3月27日、写真を撮りました。  
「皆でいろんな形のポーズ」





## 工房プラス

（3月24日～4月24日までの工房報告）

4月10日に非常食を皆さんとお屋に試食しました。掛橋さん、小熊さん、斉藤さん、朝生さん、が作ってくれました。

非常食のご飯は6種類ほどありました。私は、炊き込みご飯を食べて固くなかったから食べやすかったけど、味が薄かった。



この非常食を食べました



タイマーで出来上がるのを待つ赤ちゃん



小熊さん、楽しんでます。

カメラ目線！（廣瀬さん）

午後、ダンボールベッドを工房の皆で試しました。時間が10分で出来るそうですが皆さんと組み立てて、立体パズルのようにどこがはまるか、皆さんと考えながら作りましたら20分ぐらいかかってしまいました。



組み立てがとまどったけど皆さんと出来て楽しかった。

普通のダンボールとは、ちがって固かった。もし、震災で風の子に泊まった時に 今回のベッドで横になって試した事がいかされると思いました。ポータブルトイレも試しに座ってみたら普通に座れることがわかりましたが少し座りづらかった。

今回の防災訓練は、私にとってとてもいい体験になりました。

メンバー 廣瀬依生



後ろを持つ人が大変そうでした。



小野田さん、段ボールベッド試し中！

## 牛乳パック募集

### ●問い合わせ

特定非営利活動法人 風の子会

〒105-0022 東京都港区海岸2-6-29平成海岸ビル5階

TEL: 03(6809)4001

ぎゅうにゅうパックをほしく  
をしています。おし/カギを  
いっしょうけんめいぎゅうにゅう  
パックをおく、てください!!  
みたく  
朝生 孝之、齊藤 厚一より



## 活動報告

3月22日～4月23日まで

①3月27日、皆さんと一緒に外に出かけました。日の出桟橋から東京ポートシティ竹芝のタリーズに行きました。そこで皆さんで飲み物を頼んで外で飲みました。とても美味しかったです。

②3月31日、朝生さんと斎藤さんと野田さんとボランティアさんでは青木さんと木村さんの5人で国枝さんのところに行って牛乳パックを受け取りに行きました。皆さんいっぱい牛乳パック集めて下さってホントにありがとうございました。



朝生さんがアルファ米を作っている様子です。

③4月3日、小熊さんが復帰しました。とても小熊さんは元気そうでした。

④4月3日、ウオーターズ竹芝に初めて皆さんと一緒に出かけました。風の子会からウオーターズ竹芝の場所まで15分から20分ぐらいかけて皆さんと一緒に歩いて行きました。こんなにいい場所があったなんて知らなかったです。また行く時があったら行きたいです。

⑤4月10日、お昼ご飯の時間の時に皆さんと一緒にアルファ米の試食会をしました。皆さんはそれぞれの試食したいアルファ米を選んでいました。



災害時に使うダンボールベットを皆で組み立てながら作っていました。

⑥4月13日、工房の皆さんでPRキットについて話し合いをしていました。

メンバー 島田龍司



## 祝！！ 風の子復帰

1月26日から3月30日まで腎臓病と左足痛の治療のため済生会中央病院と高輪病院に入院しました。1月30日の朝、吐き気と左足痛で動けなくなり、風の子に休みたいと連絡したら心配して木村さんと沼口さんが見に来てくれました。そして病院に電話してくれ元々人工透析の予定だったので入院が決まりました。2人で入院に必要な下着や身の回り品の準備をして病院まで送迎車で送ってくれました。2人には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。当初の予定では、1週間程度で退院出来ると思っていたのですが左足痛が引かず結局リハビリも含めて2ヶ月も入院しました。透析を始める前は、ネガティブな情報で頭がいっぱいで、これで僕の人生も、終わり、と絶望的な気持ちになりました。しかし始めて見ると、食欲も出てきて筋肉も付き、入院前より体調は、格段に良くなりました。週3日4時間の透析は辛いですが、最近は左手だけで本も読めるようになりました。この先どうなるか分かりませんが今は、人工透析を始めて良かったと思います。

メンバー 小熊 健



久々の外出で何を頼もうか悩んでいます。



「風の子会」が『平成ビル』に転居した事において  
メンバー 信高正義

ここへ来るのは5回～6回位あったが、『平成ビル』も従来のビルも、ビルの設備では、今のところ問題はないと思う。まだ、詳しくこのビルを探索したり付近を徘徊した訳では無いが、特に5Fエレベーター出入口と事務所の近さは評価に値すると思う。今までは渡り廊下を歩いて段差を歩いてようやくたどり着いた事だったが、今回の建物はエレベーターから事務所まで非常に近い距離に配置されているのも評価したいと思う。そして『ゆりかもめ』の【日の出】駅にも近い。駅から歩いて10分位だろう、障がい者を取り込んだ職場なのかなと思ったが、障がい者とは関係無いらしいとの事で、たまたまこういう配置になってしまったとの事である。だからといって、特別な仕掛けがある訳でも無く、ここで活動するに必要なものしかない。そうこうしている間に移転の時期が来て“平成ビル”へ移る時が来た。新たな事務所においても、今まで同様出来る範囲で活動していこうと思う。

久しぶりの試食会

4月10日（土）引っ越して一月ほどたち大分落ち着いてきたので非常用の味付きアルファ米の試食を昼食時にしました。どんなものがあつたかという、山菜おこわ味・ドライカレー味・ピラフ・田舎ご飯等がありました。その中で僕は、ドライカレーをほんのひと口～ふた口頂きました。すごくおいしいとは言えませんが、それでも50年以上前に比べると非常食のレベルも進化しました。乾パンや氷砂糖位しかなかった時代には。アルファ米は、常温で最低でも15分以上置かないと食べられません。今は缶入りで長期保存できるパンや温めずにおいしく食べられるカレーなどが市販されています。でも災害が起きないことを願う今日この頃です。

メンバー：三木 直人

まるで冷凍食品→





## 風の子会の移転

4年前の平成27年12月下旬までは港区港南にあるカナルサイド高浜【高浜実習所】と呼ばれ、10年以上も活動していた。その場所は3階に二部屋借りて、風企画（パソコン班）と風工房（手作り班）に分かれて作業していて食事時はみんな集まって一緒に仲良く食べていた。キャブは建物の前に4台も駐車場に止めることが出来た。上を見れば大空が見え、周りは緑に囲まれていて春になると私の大好きな桜がどこからでも見えてとても良かった。しかし、東京オリンピックの街作りの準備としてこの建物を取り壊すので、移転しなければならなかった。

そして平成27年12月25日高速道路の芝浦出入口が有る所の真下にある「芝浦日新ビル」の5階に移転した。そこはワンルームですごく広い部屋で企画と工房が一緒の部屋で作業することになった。また、エレベーターは車椅子1台しか乗れないスペースだった。それでは送迎が大変だと思った。しかも最初のうちは1階の駐車場に車が止められなく近くの駐車場に止めていた。

契約期間が切れ、今年の3月1日に同じ高速道路の下の車で10分ぐらい行った平成海岸ビルの4階と5階を借りて作業する事になった。窓から見える景色は東京湾とレインボーブリッジ、ゆりかもめなどが見え晴れた時は明るくて最高だ！エレベーターは車椅子3台ぐらい乗れるようだ。キャブは1階の駐車場が空いていないため高速道路真下に止める事になった。1階は駐車場になっていてその真中にターンテーブルが有り車椅子にとっては危ない。

私は早く「高浜実習所」に戻りたいと思っている。

Yuki



## 風の子・なつかしのアルバム

白黒で分かりませんが、僕が  
金髪だった頃



赤い玉は何個でしょう

この写真は、2004年・2005年ごろ5月に行われた合同運動会の写真です。

合同運動会とは、風の子を含む港区の福祉作業所6団体が旧港区立スポーツセンターに集結をして、運動会を行われました。玉入れ競争やパン食い競争、紅白リレーなどがあり、その時代、普段みなと区民まつりでしか顔を合わせることがなかったので、合同運動会を行われてよかったなあと思いました。また、合同運動会を行われることを願っています。

メンバー 田中 聡





## ～ 運営委員会より ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合っ  
て決める機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月  
に1度集まって様々なことを話し合っています。

2021年4月の運営委員会内容

### • コロナ対応

→4月6日（火）メンバーでまた発熱者が出たので、風の子での  
対応を再確認した。発熱したメンバー、濃厚接触者と思われる  
職員とメンバー計10名は4月10日(土)にPCR検査を行う  
こととした(結果は全員陰性だった)。

### • 移転報告

→移転は滞りなく完了した。移転にかかる決算報告がなされた。

### • 生活介護一本化

→生活介護一本化にするため、都に申請を出したのだが、現状だ  
と職員の定数基準を下回ってしまい、減収となる見込みが出て  
くるので、どのように対処すればいいか都と協議している。

→そのためにも職員募集は急務である。

### • 総会日程

→今年度総会を6月19日(土)開催とした。

これらについて話し合いました。

文責 運営委員・小野塚



## 風の子会職員募集

電話で応募 03-6809-4001 風の子会高浜生活実習所  
担当 井出

選考 履歴書と実習2～3日（実習手当、交通費支給します）面接

募集要項  
フルタイム

職種	生活介護支援員
勤務内容	勤務場所 身体障害者の通所施設（風の子会高浜生活実習所） 障害者介助、障害者の日課作業等の援助、実習所 運営
	送迎車両運行、男子トイレ介助
資格条件	男子（64歳以下） 普通自動車運転免許 その他資格不問、経験不問
勤務日時	日曜、木曜、祝日を除く週5日、9時～17時（1日8時間） 夏、冬休み各6日程度
基本給	196,250円～207,400円（採用時年齢による） 年次昇給あり
残業手当	支給（平均10時間程度あり）
業務手当	月2,000円
処遇改善 手当	月12,500円
運転手当	月20,000円
通勤手当	全額支給
賞与	夏冬 基本給の各2ヶ月分（年4ヶ月）
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、 中小企業退職共済



## 賛助会更新・加入、寄付のお願い

今年も、賛助会の加入と更新をお願いします。

芝浦日新ビルの退去を求められてから1年と3ヶ月かけて、今年の3月に新しい実習所に移転することが出来ました。移転には区の多大な補助を頂きましたが、なお自己負担は1000万円を超え、財政困難を極めたのですが、幸いにも、みなさまの賛助会費などのご寄付が500万円を超え、おかげさまで負担を予想よりはるかに少なくすることができました。お礼申し上げます。

一方、新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者の通所の自粛要請、外出行事の停止、年間行事の停止、クラブ活動の休止、職員の時差通勤等の対策、発熱した利用者への対応、数回におよぶ全員へのPCR検査など、いくつもの活動の制約と経常収支の400万円超えの赤字を強いられてきました。そして、コロナ禍の困難は、これからも続きます。

これまでの2年間は、1台400万円の送迎用車両の老朽化更新や、職員の待遇の改善などは先送りせざるを得ませんでした。

財政を見れば目を覆いたくなる惨状ですが、実習所のみんなは明るく元気です。

私たちは、100人を超える賛助会員・寄付者（家族は一人と数えます）を目標としています。昨年度は、賛助会員・寄付者は80名を超えました。広く広くみなさんのご支援を求めます。

賛助会更新、新規加入あるいはご寄付いただける方は、同封の郵便振替用紙を使用して、賛助会費（寄付金）を送金ください。なお、賛助会は一口3000円以上で加入となります。

賛助会費には、寄付金領収書を発行いたします。

令和3年5月

特定非営利活動法人 風の子会  
理事長 田中 あけみ

風の子会は、認定特定非営利活動法人の認証を受けています。ですから、当会へのご寄付や賛助会費の金員には、寄付金領収書を発行いたします。この領収書で所得税、法人税の控除が適用になります。港区、都内などご住所によってはふるさと納税の適用を受けることもできます。



1995年8月10日第三種郵便物認可（毎週一回水曜発行）  
2021年5月7日発行SSKS増刊通巻第8209号 風の子便り



## 賛助会(寄付)・物品寄付のお礼

賛助会(寄付)ありがとうございます。(4月1日～5月10日)(順不同)

小山 秀演様 薛 永日様 薛陳 月美様



## 廣瀬さんの写真コーナー

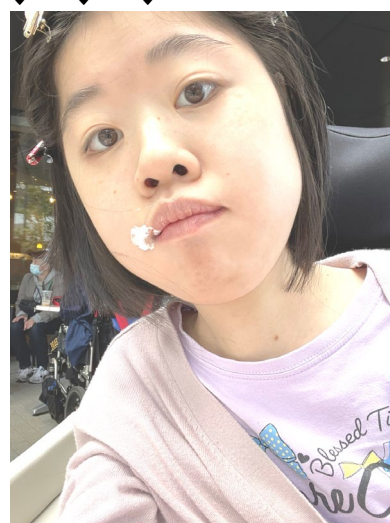
今回は所長のため息をメンバーの廣瀬さんに譲りました。4月3日、アトレ竹芝の散歩の時に、スマートフォンを車いすに取り付けて撮影しました。それを廣瀬さんが、選び、コメントをつけてくれたものです。



お茶をする場所を見つけました。椅子や物を動かしてくれている職員の平沼さんです



おやつサンドを食べました。



おやつを食べさせてもらって自撮りした私。カメラ目線。笑

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	三木 直人
小野塚 航	柳川 敬事
島田 龍司	幸 高史
田中 聡	

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型  
〒105-0022

東京都港区海岸2-6-29 平成海岸ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：[kazenoko@kazenokokai.or.jp](mailto:kazenoko@kazenokokai.or.jp)

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102